

令和6年度 事業報告

部門名： 総務課

結果凡例：◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 利用される方が安心して過ごせる施設環境の維持管理	○	新型コロナウイルスの脅威も収まりライフラインの維持に関しては管理職員の迅速適切なフォローができた
2. 職員が安心して働ける職場環境の維持管理	×	職員の退職にともない引継ぎの不足から給与の支給に齟齬をきたした
3. 官公庁や取引先等外部との良好な関係を保ち、法人を守る	○	各申請、報告については遅延等があったが、協調的な関係を深めることが出来た
4. 総務課全員の更なるレベルアップを目指す	△	全事務職員の退職があり新規採用の職員の負担が大きかったが主体性を持った業務の遂行が見られた
5. 経費削減や節約、省エネルギーを常に心がける	○	燃料等の高騰が見られたが許容出来る範囲で運営できた
実行方針	結果	備 考
1. 非常災害等の発生に柔軟に対応できるよう、各施設の備品や備蓄資材品を確保し、管理する。	○	各部門との連携を密にして新型コロナウイルスに対する医療材料などを円滑に確保できた
2. 求人広報活動を促進し、入職者の増加を目指す。また、新たな求人活動の方法を模索する。 離職事由を分析し、環境を改善することで人材の定着を目指す。	○	隙間時間利用のチラシ配布で介護補助員の増加が図れた。初めてミャンマーから技能人材を4名導入した
3. 各々が担当分野を拡大できるよう、業務についての理解を深め、スキル向上に努める。	△	全体研修など(今年度1回)の職員研修の実施が低調であった
4. 各種規程をはじめ、法令や制度等を熟知し、各事業を支援できるよう努める。	△	総務課職員が一新されたことで、新たな組織運営を目指す
5. 無駄のない備品・物品購入と必要に応じ相見積を行い、経費節約を日頃から心掛ける。	○	必要な物品を購入することに意識付けができるようになった。
定量的な目標	結果	備 考
各事業が定量的な目標を達成できるよう支援する。	△	総務課管理を中心に各事業所へのフォロー体制が整いつつある
定性的な目標	結果	備 考
各事業がスムーズ且つ効果的に業務を遂行できるよう支援する。	△	総務課業務の共有が出来、合理化が進んできている

令和6年度 事業報告

部門名： 業務課

結果凡例：◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. ユニットケアにおけるその人らしい生活が継続できるように、環境を見直し、必要物品を補充します。	○	概ね計画に対しての備品の購入を行えた。整備等についても、他部署の協力も得て行っていた。
2. 一人一人の思いや気持ちを大切に、個別ケアの実施に努めます。	○	入所時のアセスメントやご家族との情報確認を行い、支援計画に基づいたケアを行えた。毎朝の申し送り、担当者会議やユニット会議を通し職員間の情報共有にも努めた。
3. 自分らしく暮らし続けることができるよう一人一人の生活習慣に沿った日常生活援助を提供します。 科学的な根拠のある基礎介護の向上を目指します。	○	支援計画を通し、その人らしい生活に繋がるよう努めていた。継続してLIFEに基づいた取り組み、定着を行えた。
4. 住み慣れた地域とのつながりを大切に、生きがいをもち生活が継続できるようお手伝いします。	○	定期的な運営推進会議の実施や町内会行事への参加、施設内行事を実施した。地域の2つの幼稚園と計4回、交流慰問を受け入れることもできた。
5. 目標に向けた入所者の稼働率の安定、短期入所の利用者の確保、利用維持に努めます。 必要な職員採用、育成を図り、定着して働きやすい職場づくりに努めます。	△	年間延べ入院日数1,144日、平均4名/月の入院者状況であった。 特定技能外国人の採用など、新たな人材採用への取り組みに繋げることができた。
実行方針	結果	備 考
1. 基礎介護の向上を図るため学習を深める機会を作ります。 看護業務の手順や体制の再構築を図り、医療機関とのスムーズな連携につながるよう努めます。 必要な介護備品、入所者の方の施設生活での娯楽につながる備品の整備、購入を行います。	○	新たに生活支援サポーターを採用し、入所生活支援業務の分担化を図った。介護・看護に関わる備品の整備や行事の開催や近隣の幼稚園児との交流など利用者様の笑顔あふれる生活への取り組みを行うことができた。
2. 施設介護計画に基づいたサービス提供を目指し、多職種間での情報の共有、統一した介護の提供に努めます。	○	サービス担当者会議の定期開催や毎朝の申し送り体制の定着することができていた。他病院とのタウンミーティングへの参加を通し情報交換の場にも参加出来ていた。
3. ダブルチェック体制の構築からケースカンファレンスの取組を目指し、体調不良への早期発見・迅速な医療連携を取れるよう努めます。 科学的な根拠のある介護の取組の実現に向け、『LIFE』に関わる加算への取り組みを目指します。 介護報酬改定にともなう、新規加算算定に対する検証、取り組みを行います。	○	介護・看護間の連携を図りながら、体調不良時等は早めの医療機関との連携に繋げることができていた。 『LIFE』に伴う加算の取り組みの継続もできた。
4. 様々な感染症への予防対策を考慮しながら、地域行事や会議等への参加・交流を図ります。 利用者さんと家族との交流会の計画し、実施します。 介護実習等の受け入れを通じ、地域の福祉に対する学びの場へ貢献します。	○	網走神社祭のお御や地域との幼園児との交流行事、町内会との関わり等への取り組みを行えた。2校の介護等体験実習や日体大附属高等支援学校との職場体験実習など、介護実習の場所として取り組みも行うことができた。敬老会の式典も祝い年のご家族をお招きし、ご家族とともに祝いすることの取り組みもできた。
5. 退所後のスムーズな新規入所につなげるよう10日以内を目標に取り組みます。 新入職員の育成計画を立て、それに沿った研修を実施します。 必要な資格取得やネクストリーダーの育成について年間研修計画に基づいて実施します。	△	9～12月に渡り、毎月複数名の入所者様の退所となり、新規入所に至るまでの期間に日数を要してしまった。退所から新規入所まで平均14日を目標に次年度スムーズな入所へ取り組んでいく。 次年度、ユニットリーダーや介護福祉士実習指導者の取得者選出を行っていく。
定量的な目標	結果	備 考
① 入所の年間稼働率95%(広域型17,338名、地域密着型6,935名 年間24,273名)を目指します。	△	年間93.9%で目標達成には至らなかった。前年度比としても0.6%ダウンであった。
② 短期入所の年間稼働率95%(月平均 3,482名)を目指します。	△	90.1%の結果であった。秋～冬にかけ、感染症や持病の悪化に伴う入院などを理由に利用のキャンセルも目立ち急な利用調整も困難を要した。
定性的な目標	結果	備 考
① 入所70床、短期入所10床を稼働していくにあたっての人材確保に努めます。	○	介護業務に関わる業務分担を手掛け、入所者様の環境支援業務についての生活支援サポーターの採用や特定技能外国人として、ミャンマーの国籍の4名を常勤採用、定着に向けて取り組めた。
② なないろ館を利用される利用者さん・家族に、安心感・満足感を提供できるサービスを目指します。	○	面会や外泊・外出希望への支援や敬老会などのお祝い事をご家族もお招きして実施するなど少しずつ自由に行き来できる対応に繋げることができていた。

令和6年度 事業報告

部門名： 給食業務

結果凡例：◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 利用者の状態に合わせ、安心、安全な食事を提供します。	◎	米飯の硬さ、副食のきざみ等調節区別を実施。
2. 利用者に満足していただける食事の工夫をします。	◎	利用者の希望に添えるよう努力している。
3. できるだけ最期まで口から栄養を摂り、食事を楽しんで頂ける工夫をします。	◎	利用者の希望に添えるよう努力している。
4. 旬の食材や地元食材の使用を心がけます。	○	旬の食材を使用した献立の実施に努力している。
5. 安価で良質な食材を無駄なく使用します。	○	物価値上がりの商品が多くあった。
実行方針	結果	備 考
1. 多職種と連携を図り、利用者の栄養状態、口腔機能を把握し、一人一人に合った食形態や、量での食事提供を目指します。	○	食事時の巡回などを通じて、多職種と連携図り、利用者個別に応じた食形態で食事提供できた。
2. 味・彩り・温度・盛り付けに気を配り、質の高い食事を目指します。	◎	委託会社と協力し、今後も努力する。
3. 研修会に積極的に参加し、情報収集と周知を行います。	○	書面や会議等で周知する。
4. 行事食などで季節を感じられる食事提供を目指します。	○	行事食には可能な範囲で取り入れることができた。
5. 購入計画や見積もりなどをこまめに行い、無駄をなくすよう心がけます。	◎	今後も努力する。
定量的な目標	結果	備 考
(1) 利用者の現在の機能で美味しい食事ができるように、月1回以上のミールラウンドを実施し、その結果を食事に反映できるよう努力します。	△	なないろ館では月2～4回実施できたが、サテライトでは訪問できない月も多く未達成。次年度実施できるよう努力する。
定性的な目標	結果	備 考
(1) 季節を感じられるような行事食イベントを計画、実行できるよう努力します。	○	今後も努力する。
(2) 食形態を加味しながら、楽しく食事ができるような彩りや盛り付けに工夫できるよう努力します。	○	今後も努力する。
(3) 衛生管理を徹底し、食中毒を予防します。	○	今後も努力する。

令和6年度 事業報告

部門名： 大曲レインボーハイツ

結果凡例：◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 入居者様が安心できる日常生活が送れるよう環境整備の改善を組みます。	○	遮光カーテンの設置、ボイラーなどの修繕を行い、環境整備の改善に取り組んだ。
2. その人らしく自立した日常生活を営むことが出来るよう支援します。	○	一人一人の情報を共有し合い、理解し、それに伴った支援ができた。
3. 一人一人に寄り添いながら体調の変化に留意し、安定した体調で過ごしていただけるよう支援します。	×	新型コロナウイルスの発症もあり、体調不良者を出してしまった。
4. 大曲地区との連携を継続し、地域活動に参加することで地域に役立てる施設とします。	×	職員不足もあり、ほとんど地域活動に参加できなかった。
5. 職員の定着化、離職を減らし継続の雇用。入居稼働率の安定。	×	入院や入退所が多く、稼働率の安定ができなかった。
実行方針	結果	備 考
1. 特養増設に伴い、備品、介護器具の見直し(1、2丁目洗濯機修繕、2丁目トイレ手すり設置等)	○	備品の修繕、2丁目トイレに手すりの設置が出来た。
2. 会議等で出来る事を少しでも続けていけるようにケアを統一して、利用者本位のケアを行います。	△	会議が前年度より少なく、統一したケアがあまりできなかった。
3. 日々の体調変化を見逃さないよう介護・看護職員の連携を密にして、重症化・長期入院の防ぎます。	×	職員間での連携はできていたが、長期入院者を出してしまった。
4. 感染症の状況を踏まえたうえで、地域行事や会議等に参加し、地域交流を図る。	×	新型コロナウイルス発症に伴い、地域交流がほとんどできなかった。
5. ユニット間だけではなく、大曲全体の良い雰囲気作りに務める。早期通院、治療を行い、長期入院を防ぐ。	×	ユニット間も全体もあまり良い雰囲気ではなかった。早期通院は行ったが、長期入院者が多かった。
定量的な目標	結果	備 考
特養：月平均28人 稼働率95%	×	退所から入所までに時間がかかり、月平均24人稼働率83.6%だった。
定性的な目標	結果	備 考
大曲ならではのアットホームな雰囲気の中で、利用者様、ご家族様が安心できるサービスを提供。	×	新型コロナウイルス流行、感染により、入所者様が制限された生活を送ることもあり、満足のいくサービス提供ができなかった。
利用者様・ご家族様・地域の方々と良い関係を築き、開かれた施設運営を行う。	○	地域との交流はあまりできなかったが、面会の回数も増え、良い関係が築けた。

令和6年度 事業報告

部門名: 向陽ヶ丘レインボーハイツ

結果凡例: ◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 利用者が笑顔で過ごせるサービスと環境を提供します。	○	季節行事や特別食などを通し、利用者が笑顔で楽しみの持てる生活環境を提供できた。
2. 利用者の意思を尊重したケアを行っていきます。	○	個別ケアを行うことで、利用者の意思を尊重したケアを実践できた。
3. 研修を通し、介護技術の習得に努めます。新たな加算の算定に努めます。	○	研修機会は少なかったが、新たな加算を算定することはできた。
4. 地域との交流を通し、協力・連携して頂ける関係性を築いていきます。	△	自治会に参加する程度で、地域との交流機会をつくることができなかった。
5. 人員の確保、育成を行います。稼働率、登録数の安定を図ります。	△	人員の確保はできたが、離職者もいたため人員の増強にはつながらなかった。稼働と登録数も目標値までは届かなかった。
実行方針		
1. 季節行事や食事の充実を図り、その為に必要な物品を購入します。(IHクッキングヒーター、炊飯器、ハンドブレンダー、サイドテーブルなど) 安楽な入浴が出来るよう、機械浴をもう1台整備します。 老朽化した施設備品の修繕、購入(ナースコール、食事用椅子、テレビ等)	△	季節行事や食事の充実は図れているが、必要物品は購入できなかったものも多く、来年度以降に検討する。
2. 利用者個々の状態や意思に合わせた、個別ケアを提供します。	○	日々の状態に合わせて、個別ケアを行うことで、質の高いケアを提供出来ていた。
3. 定期的に研修を行い、技術の向上を図ります。 令和6年度法改正による新たな加算を算定し、加算に基づいた根拠のあるケアを行います。	○	研修自体は少なかったが、新たに口腔衛生管理加算を算定することができ、定期的に歯科医師、歯科衛生士から助言をいただき、ケアの根拠にも繋がった。
4. 地域行事や会議への出席を積極的に行い、交流を深めます。	×	地域行事や会議の開催自体がなく、交流機会がなかった。
5. 職員が離職せず定着できるような環境づくりを行います。(職員研修の充実、休憩場所の確保、ロッカーやパーテーションの購入、長期休みの確保など) 退所後10日以内に新規入所を目指します。可能な限り利用の相談を受け入れます。	△	ロッカーは職員から必要ないとのことで、休憩場所や休みを確保することで、環境を整えた。 退所後の入所期間については、スムーズに入所ができないことがあり、時間がかかってしまう結果となった。
定量的な目標	結果	備 考
特養: ベッド稼働率97%、総入院日数、空所数を年間197日以下を目標に取り組みます。	△	長期入院者が出たこともあり、ベッド稼働率96.1%延空所数264日となり、目標値を下回る結果となった。
小規模多機能: 登録人数 年間平均9.0人、登録利用人数9人以上に努めます。	×	入所に移行された方が2名あり、また、泊まり利用が主の希望の方が多く、新規の登録につながらず、登録平均7名と目標値を下回った。
定性的な目標	結果	備 考
向陽ヶ丘レインボーハイツだからこその、生活感あふれる魅力ある施設作りを目指します。	○	特養、小規模共に特性を活かした施設作りを今年度も取り組めていた。
利用者、家族、地域との馴染みの関係作りを大切にします。	○	ご家族との面会も再開し、馴染みの関係を再構築していく事ができた。

令和6年度 事業報告

部門名:養護老人ホーム ふれあい館

結果凡例:◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 入居者一人ひとりの尊厳を護り、心あたたかに心のふれあいが感じられる大切な暮らしの場を目指します。	○	できるだけ一人ひとりの思いにこたえることができるよう取り組んだ。
2. 入居者が健康で生きがいをもち、自分の力を最大限発揮し、暮らし続けられるような施設を実現します。	○	ADLが低下された方に少しでも自立した生活が継続できるよう、居室内の生活環境を整備した。
3. 認知症になっても、お互いに人格と個性を尊重し支える施設を目指し、適切に支援していきます。	○	それぞれの個性を尊重しながら適切に支援できていたと思う。
4. 大曲の地域住民の一員として、暮らしやすい地域作りの活動と一緒に参加し地域貢献に努めます。	○	西地区地域活動推進協議会高齢者部会、コミュニティセンター運営部会に出席し地域貢献に努めた。
5. 物価高騰による備品等のコスト見直しを行い、経年劣化を迎える備品の整備や交換を進め、計画的な修繕・必要物品の整備を行います。	△	物価高騰の影響で特に光熱費等の影響が高く、経費削減までには至らなかった。 必要な物品等は計画的に購入することができた。
実行方針	結果	備 考
1. サービス業であることを忘れず、入居者の思いを理解し共に成長できるよう日々丁寧な対応を心掛けます。	○	それぞれの思いに向き合い、個別に対応できた。
2. 体調不良の早期発見・早期対応に心がけ、残存能力を生かし、障害があっても健康に過ごせるようにします。	○	できるだけ早期受診するように努め前年度より入院者数が少し減少することができた。数人の難聴者に対して補聴器の申請を行い、QOLの改善につなげることができた。
3. 日々の記録、表情や行動から、必要と思われる障害に対し手を差し伸べることができる様に学習する機会を増やします。	○	定期的に利用者の処遇に対して話し合えるようスタッフ会議を行い、統一したケアを行えるようにした。
4. 大曲地域で行われる行事等に参加し、暮らしやすい地域づくりを継続します。	○	西地区の防災訓練に参加。 西地区地域活動推進協議会の部会等に参加し大曲の地域づくりに参加できた。
5. PCやシステムの変更を予定し、変更による職員負担軽減を図りながら、徐々に施設改修・整備を進めます。	○	PC3台更新。(事務所2台、看護詰所1台)
定量的な目標	結果	備 考
今年度における入院者数から3割減少を目指し、稼働率を上げます。	△	令和5年度より2割減少
措置費での空床がない様に50床の稼働を維持します。	×	前年度より退所者12名と倍増した為か、新規入所がなかなか見つからず、空所数550床と前年度より4.8倍も増加してしまった。
定性的な目標	結果	備 考
入居者が安心して生活できるように、施設環境を再整備していきます。	○	居室内の転倒けが予防対策をこまめに行った。
職員研修を重点に置き、職員個々の介護技術を向上できるようにします。	○	介護技術の向上目的で、支援員の外部研修会へ数人参加してもらうことができた。

令和6年度 事業報告

部門名： 網走レインボーハイツ デイサービスセンター

結果凡例：◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 利用者、職員ともに笑顔をつかち合えるデイサービスを目指していきます。	○	利用者、職員がともに笑顔で過ごせたことが多かったと感じます。
2. 人生の先輩を敬う気持ちで「心」のあるサービスを提供します。	○	親切、丁寧なサービスを実施できるように心掛けてきました。
3. 毎日の生活を生きがいを持って楽しく過ごせるように支援を行ないます。	○	在宅生活が継続できるように日々の困りごとの相談に乗り、力になれるようにしてきました。
4. 地域との交流を大切に、地域の特色に目指したサービスを行なっていきます。	○	コロナで中止していた外出レクを徐々に再開し網走の四季を感じることができました。
5. より多くの利用者がデイサービスを利用して頂けるように、サービスの向上を目指します。	△	LIFE加算の取得には至らず、看護師の退職に伴い、機能訓練を10月より休止することになりました。
実行方針	結果	備 考
1. 利用者様、ご家族のニーズに沿った通所介護計画の作成、実施、モニタリング、評価を行います。	○	通所介護計画書の作成、実施、評価を確実に行っています。
2. 利用者様に寄り添い「やりたいこと」「必要なこと」をお手伝いできるデイサービスを目指します。	○	個別機能訓練、レクリエーションなど実施。好評を頂いています。
3. プログラムの多様化、行事の充実化を図り、楽しく通える場所を作ります。	○	室内で出来るレクリエーション、行事は充実したものになりました。
4. 網走の文化、季節を感じられるようにボランティア、市などの各関係機関と連携を行います。	△	外部の関係機関などの交流は実施できませんでした。
5. 新たな利用に繋がられるよう、地域のケアマネジャーと連携を図ります。	△	人員不足により、新規利用者をお断りせざるを得ないこともありました。
定量的な目標	結果	備 考
年間実績数 7,000件、月585件、一日平均23.0件を目指します。	△	年 6,662件（前年比 -567人） 月平均 555人（前年比 -39人）
定性的な目標	結果	備 考
施設内・外の勉強会、研修を通し、スタッフが知識をもってケアに臨むことができるようにします。	○	今年度より必須になった3項目の研修・訓練を実施しました。
気持ちよく利用が出来るように掃除、整理整頓にて環境整備を行なっていきます。	○	施設内美化を実施しています。

令和6年度 事業報告

部門名: レインボーハイツ あいむデイサービスセンター

結果凡例: ◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 個々に必要なサービスを、安心して受けられる場を提供します。	○	入浴や体操・ストレッチなど、安全面を考慮しながら個々のサービスに対応することができました。
2. 利用者様の大切にしている生活を共有し、利用者様らしく生活ができるように努めます。	○	ご本人やご家族、ケアマネジャーと連携を図りながら健康や生活状況などを把握し、支援することができました。
3. 持っている力を活かせるレクリエーションや行事を行ない、有意義な時間を過ごせるように努めます。	○	壁飾り作りやDVDを活かした体操など、利用者様に寄り添ったレクリエーションを行ない、敬老会やクリスマス会を通して、笑顔で喜ばれる環境作りをすることができました。
4. 地域との交流を大切にし、地域から必要とされるデイサービスを目指します。	○	ドライブや買い物レクリエーションを通じて、地域との交流を感じ得ることができました。8月のお祭りは参加予定したが、あいむでコロナが流行したため不参加となりました。
5. 利用定員を意識しながら稼働率の安定を図ります。	○	冬期期間は入院や施設入所が多くあり、稼働率が下がりましたが、平均的に安定した稼働率を維持することができました。
実行方針	結果	備 考
1. 利用者、ご家族のニーズに沿ったケアの実施。共に楽しく過ごす事のできるデイサービスを提供します。	○	来所されるのが楽しいと思える環境作りができました。
2. 一人ひとりのケアの実施。利用者様の「やりたい事」を実行できるデイサービスを目指します。	△	ネット手芸や手作業、が支出を望まれる利用者様に提供することができましたが、カラオケを望まれる利用者様には、感染症対策のためお断りをしました。
3. 外出、体操、創作活動等のプログラムの多様化を進め、楽しく参加できる場所を作ります。	○	買い物やドライブを通じて、気分転換や様々な刺激を与えることができました。職員が考案したレクリエーションや創作活動に楽しく参加され、下肢運動を取り入れることで、浮腫み対策を行なっています。
4. 地域のイベント、行事への参加、季節を感じられる取組みを行ないます。	○	8月のお祭りにはコロナ感染の影響で参加できませんでしたが、七福神祭りで余興を近くで観ることができました。買い物やドライブを通じて、季節の花や食材を感じて頂くことができました。
5. 加算の習得を考え、単価を上げることを意識して、業務を進めていきます。	△	今年度より、サービス提供体制強化加算と処遇改善加算が「Ⅰ」で算定できるようになりましたが、機能訓練の再開の目途は立っていません。
定量的な目標	結果	備 考
年間実績数 6, 480件、月540件、一日平均18件を目指します。	◎	延べ利用者数は7, 094件、月平均591件、1日平均利用者数19. 7件で目標に達することができました。
定性的な目標		
人生の先輩である利用者様に、敬意を持った対応を行ないます。	○	利用者様との距離感が近過ぎることがあり、言動に配慮が欠けることがありました。
施設内外の勉強会や研修を通し、スタッフが知識を持ってケアに臨むことができるようにします。	△	今年度より、BCP・高齢者虐待・感染症の予防及びまん延防止の研修が必須になり行うことができたが、全員が理解をするには至っていません。
感染症予防に取り組み、過ごしやすい環境整備を行ないます。	○	手指消毒や換気を行い、毎回車内消毒、週に1度お盆や食器類の消毒、週に1度寝具類の洗濯を行うことで、施設内の感染を抑えることができました。8月に1度コロナ感染により休業しています。

令和6年度 事業報告

部門名： 網走レインボーハイツ 在宅介護支援センター

結果凡例：◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 利用者、家族への「丁寧な」対応と「やすらぎと安心感」を提供する姿勢	○	傾聴姿勢は崩さずに利用者・家族へ安心感を提供した。
2. 利用者のサービス管理から健康管理、生活機能向上へ向けた管理	△	常に念頭において実施した。
3. 高齢者の状態変化への対応強化（認知症・中重度高齢者）	○	状態変化を見逃さず、随時対応している（サービス量、区分変更等）。
4. 医療との連携	○	医療職（医師、看護師、リハビリ職、薬剤師等）連携を図った。
5. 新規依頼は断らない。要介護のみならず要支援、事業対象者もマネジメントする	◎	困難事例も含めて断らず、他事業所からのケースも引き継ぎ、積極的にマネジメントを行った。
実行方針	結果	備 考
1. 技術、重度化対応知識の習得（ソーシャルワーク＋ケアワーク）	△	ケアワークについての学びの機会が少なかった。
2. サービス提供ネットワーク内での利用者の健康情報の共有と予後予測の習得	○	健康情報と予後について常に検討した。
3. 医療と介護の連携（多職種協働）による認知症、中重度高齢者マネジメント、生活機能向上	○	入院時の情報提供や、診察同行し主治医と協働した。
4. ケアマネ自身も支援者になる	○	ケアマネ自身、支援者になり利用者へのサポートを行った。
5. 予防総合事業への対応継続	◎	両地域包括支援センターより、積極的にマネジメントAおよびBの委託を受けた。
定量的な目標	結果	備 考
1. ケアマネ5名体制（管理者含む）。特定事業所加算Ⅱ算定。その他加算の算定。	○	5名維持し、特定事業所加算Ⅱ算定。初回加算を算定している。
2. 年間1,836件利用（介護給付）改正にて担当件数増になるが、業務負担にならない程度の件数にする	○	1,809件（介護給付）の実績だった。
定性的な目標	結果	備 考
1. 5名体制でのチームワークづくりとフォロー体制の構築。地域問題への対応。	○	ミーティング等により5名でのよりよい関係づくり、連携を図ることができた。地域の困難ケースへの対応も行った。
2. 担当者が不在でも相談できる対応システム	○	担当者以外のケアマネが対応できるようにミーティングなどで情報共有した

令和6年度 事業報告

部門名： 網走レインボーハイツ ホームヘルパー派遣センター

結果凡例：◎100%、○80～99%、△79%～50%、×50%未満

運営方針	結果	備 考
1. 利用者に「助かった、安心した」と、感じていただけるようなサービスと笑顔を提供します。	○	利用者から新たな要望が出た時は、ケアマネジャーにフィードバックしました。
2. 利用者が、「ご自分で判断、決定して行く事」ができるように、説明、助言します。	○	利用者の考えとご家族の希望が違う事が、決定に関しては最も難しかったです。
3. 利用者が困ることなく生活できるように、温かく、細かく情報提供できるヘルパーを目指します。	△	できることを増やして行くことは難しいですが、今できている事を継続して行くお手伝いは、心掛けました。
4. ご家族、町内会、援助者、介護保険担当者等との繋がりを大切にする気持ちを見守ります。	△	新しいお付き合いは増えませんが、今までのお付き合いを大切にして行くことはできたのではないかと思います。
5. 利用者のからだ、気持ち、環境の変化に応じた、適切なサービスにより、利用者数を維持します。	○	より良いサービスを心掛けました。ヘルパーの収入調整があり、新規を受けられない時期もありました。
実行方針	結果	備 考
1. 利用者の希望を満たす、過不足のないサービスを目指します。	○	ヘルパー同士、多職種担当者会議等で見直しを繰り返しました。限りなく希望を満たすことは、難しいです。
2. 利用者が、意思決定する場面を意識しながら、サービスを提供して行きます。	△	口にする言葉だけではなく、奥の思いを探って理解しようと心掛けました。
3. ヘルパーは、利用者にとって、気楽に、安心して相談できる援助者、聞き役になります。	○	信頼関係を築こうと、いつも寄り添う心で接していたと思います。
4. 対話を大切にし、ひきこもりがちにならないよう、話題を見つけ、声がけし、見守ります。	○	楽しい方には明るく、おとなしい方には落ち着いて接し、声がけにも個々に対応しました。
5. 利用者の変化を、素早く感じ取れ、多職種援助者との連携をとれるヘルパーを目指します。	○	同じヘルパーが変わらず担当・訪問する事で、安心してサービスを受けてくださった利用者が多いと感じます。
定量的な目標	結果	備 考
年間880件	○	年間812人の利用者でした。
定性的な目標	結果	備 考
職員の健康管理(感染対策の徹底・仕事上でのストレス緩和)、働きやすい体制を整え、やりがいのある仕事を長く続けられるように 協力し合います。	△	コロナ・インフルエンザを含め、体調を崩すヘルパーが多かったので、代替え調整が難しかったです。
利用者の、痛み、戸惑い、寂しさ、喜びに寄り添えるヘルパーを目指します。	○	担当者同士の連絡・相談を密にし、利用者の対応に当たりました。